慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	MRI特別安全講習会
Sub Title	MRI safety lecture
Author	四本, 裕子(Yotsumoto, Yuko)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2010
Jtitle	活動報告書 Vol.4, (2010.) ,p.23- 23
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章：シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20110300-0023-2

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

1 英文論文執筆のための若手講習会2010
The Workshop of Writing Research Papers in English for Young Researchers

開催日　2010年5月22日
企　画　研究成果発信支援・プログラム委員会
講演者　小嶋祥三（脳と進化班）

2010年5月22日に、「英文論文執筆のための講習会2010」が三田キャンパス北館大会議室において開催された。当日は慶應義塾のみならず他大学の大学院生や若手研究者を中心に多数の参加者があり、まさに、英文論文執筆に対する意識の高さを反映したものであった。まずはじめに、講師を担当された小嶋祥三先生から英文論文の重要性について解説があった。その主旨は、まず英文論文を執筆することによって世界中の多くの研究者に成果を公表できること、さらに同じ研究分野の学究達と知識の交換や共有をすることによって、その研究領域の発展に多少でも貢献できるということであった。

英文論文の重要性を踏まえたうえで、引き続き論文執筆から投稿、アクセプトまでの流れについて具体例を用いて解説があった。さらに、文献の検索、執筆、英文校閲といった投稿前の流れから、投稿後の reviewer とのやり取りに至るまで大変親切な説明が添えられていた。特に、論文執筆準備における関連文献の検索方法や、雑誌の Impact Factor（IF）、各論文の引用度数の検索方法については、会場で直接 PubMed や Web of Science にアクセスするなど実践的な内容であった。また、投稿後の流れについては一事例として、先生が実際に提出された Response Paper を配布し、一流ジャーナルにおける reviewer とのやり取りからアクセプトに至る流れを詳細に述べられた。

小嶋先生は、とりわけ研究を行う上での英文論文を持つことの重要性、被引用数の高い、良い論文を執筆することの重要性を強調された。また日常の研究生活の中で英語で論文を書くことを習慣づけていく意識が大切であること、それを研究をする上での基本的姿勢として維持し続けることが肝要であると話された。

講習終了後、多数の参加者から英文投稿に関する種々の質問が出され、終了時間を過ぎても活発な質疑応答が行われた。経験の乏しいことから、ことさら英文論文執筆をハードルの高いものと捉えがちな大学院生や若手研究者の背中を後押ししてくれるような内容であった。（柴田みどり）

The Workshop of Writing Research Papers in English for Young Researchers was held on May 22nd 2010. Professor Shozo Kojima specifically explained how to write effective papers in English.

2 MRI 特別安全講習会
MRI safety lecture

開催日　2010年4月25日
企　画　研究成果発信支援・プログラム委員会、梅田聡・染谷芳明（脳と進化班）
講演者　梅田雅宏（明治国際医療大学医学教育研究センター医療情報学ユニット）

2010年4月25日、明治国際医療大学医学教育研究センター医療情報学ユニットの教授で日本磁気共鳴学会の理事も務められている梅田雅宏教授を講師にお招きし、MRI 特別安全講習が開催された。本 GCOE 拠点で MRI 実験を行う者は、全員、安全講習を受けることが義務づけられており、GCOE が主催したこの安全講習には、26名の学生や教員が参加した。講習は、MRI の原理と基礎、安全に利用するための注意点に加え、測定に使用されるシークエンスの仕組みなどの応用にまでおよび、MRI 実験の未経験者のみならず、既に MRI の知識や経験を持つ参加者にとっても、学ぶところの多い内容であった。2時間にわたる講義の後、活発な質疑応答もあり、非常に有意義な講習となった。今回の MRI 特別安全講習をきっかけに、実験関係者全員が、より高い安全意識を持って MRI 実験に臨み、今後も、本拠点で安全に MRI 実験が遂行されることを願う。

（四本裕子）

MRI safety seminar was held on April 25th 2010, with a guest lecturer, Professor Masahiro Umeda. Twenty-six attendees learned MRI basics, safety guidelines, and their applications.